

奥会津編み組細工 考察

14日、若松で講座

会津のものづくりと生き方について考える講座が十四日午後六時半から、会津若松市の福西本店で開かれる。矢沢源成三島町長、赤坂憲雄県立博物館長が講師となり、三島町の特産品で国伝統的工芸品の「奥会津編み組細工」に関して語る。

三島町長と県博物館長 講師

会津若松まちづくり株 わざ・伝える暮らし 生

式会社が、ふくにし・けん 活工芸から考える暮らし ばく連携講座と題して開 方・生き方」。県立博物館 催する。テーマは「支える 専門学芸員の小林めぐみ

さんが聞き手を務める。奥会津編み組細工は奥会津地方に古くから伝わる生活工芸品の一つで、ヤマブドウ細工、ヒロロ細工、マタタビ細工などが有名。大量生産が難しい一方で人気が高く、県内外で、高値で取引され

三島町にある縄文時代晩期の集落跡「荒屋敷遺跡」からは現在と変わらない技法で作られた編み組細工が見つかったという。

申し込みをせずに無料で参加できる。問い合わせは福西本店 電話090(9422)2924へ。



支えるわざ・伝える暮らし
生活工芸から考える暮らし方・生き方

講師 矢沢源成 (三島町長)
赤坂憲雄 (県立博物館長)

聞き手 小林めぐみ (県立博物館学芸員)

日時: 2018年11月14日(水) 18:30~ (開場: 18:00~)

会場: 福西本店 庄敷蔵 (会津若松市福西4-10)

申込不要・参加費無料

主催: 会津若松まちづくり株式会社
企画協力: 会津若松市

お問い合わせ: 福西本店 (会津若松市福西4-10) TEL: 090-9422-2924

講座をPRするチラシ